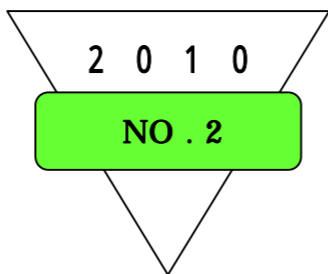


～ SOC介護福祉科通信 ～

私たちが目指すもの・・・

～ 介護を受ける人の立場に立てるプロの介護福祉士！！～



感動を生む、こころが通う介護の仕事



鈴鹿南部地域包括支援センター
主任ケアマネージャー
大島 一美

地域包括支援センターができて5年目を迎えました。高齢化が進む中、多くの介護問題が噴出してきています。中には新聞紙上で見られる悲しい事件も後を絶ちません。人は誰もが高齢になっても障害があっても輝きながら暮らし、幸せと感ずることのできる社会を望んでいます。介護の現場は利用者さんの喜び、悲しみを肌で感じる事ができます。私は当初デイサービスの職員として働いていました。かつて利用者さんと接する中、喜んでいただき心が通い合った時など感動で鳥肌が立ったのを今も鮮明に記憶しています。なにか行き詰ることがあると、そのときのことを思い出し、また前に進んで行ける自分があることを日々感じています。福祉をめぐる状況は目まぐるしく変化しています。そうした環境の中に身を置き、理論や実践を学んで広い視野から物事を見る目がこれからの介護福祉士には必要不可欠です。今後、課題を見極め、誰もが安心して暮らして行ける社会を他の職種仲間たちとも一緒に取り組んでいきましょう。

本校独自の実習スタイルで 介護への学びを深めます

本校には全国的にも数少ない、学校法人立の介護施設が併設しています。この介護施設「愛すみよし苑」では毎日9名の認知症の方々が生活されています。また、通所介護事業所も運営しており、学生たちは日々、活気ある介護現場を体感しながら学んでいます。私ども介護福祉士養成校は、厚生労働省の定めるカリキュラムに則った、1800時間の座学と校外の実習がおこなわれており、県内各校と遜色のない授業内容を展開しております。その上に、本校の独自の取り組みとして、「愛すみよし苑」に於けるコミュニケーション実習、地域包括支援センターでの見学実習に取り組んでいます。多くの学生は高齢者や障害のある方に触れる経験のないまま、不安を抱えて一人で校外の施設実習に出かけていくこととなります。そこで、担当教員やクラスメイトが見守るなかで介護の必要な方にまずは触れてみる、という実習をおこないます。いわば、実習前実習というわけです。また、地域の包括支援センターは、介護のみでなく、医療や福祉との連携で一人ひとりの介護の必要な方をサポートする重要な役割を果たす場です。このような場を直接見学させていただくことが学生にとって大きな学びにつながると考えています。



すみよし苑実習

介護福祉科 教員 水町一恵

SOC 在学中に取得可能な検定

介護現場のエキスパートになる!!

応急処置技能認定講習『上級救命講習』(消防庁)
救急法概論, 心肺蘇生法, 止血法, 外傷手当法, 傷病者管理法等。救急員の認定証(有効期限3年)が与えられます。

福祉住環境コーディネーター(東京商工会議所)
高齢者や障害のある方が暮らしやすい住環境を提案するアドバイザー。医療・福祉・建築について幅広い知識を身につけ、適切な住宅改修プランを提示します。また福祉用具や制度の情報などについてもアドバイスします。

介護事務管理士技能検定(技能認定振興協会)
介護保険制度の仕組みを理解し、正確に介護報酬を算定する技能を身に付けます。介護現場では、介護職員が事務業務を担うことが多くあり、必要とされる技能です。

その他にも・・・ 手話技能検定(NPO手話技能検定協会) 訪問介護員(三重県)
レクリエーション・インストラクター(日本レクリエーション協会)
ガイドヘルパー(三重県) 福祉用具専門相談員(厚生労働省指定)
バリアフリーアドバイザー(三重県)
など、多数の資格取得をサポートします。

スクールデイズ

新入生研修会

介護福祉科1年 上之郷 由佳

(松阪工業高校出身)



学校生活について不安でいっぱいでしたが、この研修で先輩からのアドバイスを聞き、より具体的に学校生活を想像できました。また、マナーの講義では、元気に笑顔で挨拶する事から始め、普段から相手の気持ちを考えて発言や行動をしようと思いました。この2年間で知識を身につけ、どのような状況でも対応できる広い心を持ち、学校生活を楽しいものにしていきたいです。

球技大会、バス旅行

介護福祉科2年 伊藤 歩美

(白子高校出身)

球技大会では皆でボーリングをしました。どのクラスもやる気満々で、練習から気合が入っていました。クラスの仲間や先輩達と交流を深める事ができてよかったです。バス旅行では劇団四季のミュージカルを観に行きます。すごい迫力で笑いあり感動ありで今回もとても楽しみです。



奨学金制度

三重県社会福祉協議会 貸付額 月上限5万円 入学時および卒業時に20万円加算あり
卒業後1年以内に 県内で 介護業務に 5年間従事 返還義務の免除
例 医療法人博仁会 貸付額 月35,000円 年間42万円×2年間可
ほか、医療法人思源会岩崎病院 社会福祉法人明合乃里会 社会福祉法人聖マッテヤ会
貸与期間に相当する期間を当該施設で勤務すれば返還義務の免除

< 就職先一覧 >

| 就職先 | 所在地 | 出身校 | 就職先 | 所在地 | 出身校 |
|------------------------|-----|-------|-------------------|-----|------|
| 四日市社会保険病院 | 四日市 | 朝明 | 老人保健施設しおりの里 | 津 | 亀山 |
| 身体障害者療護施設エビノ園 | 四日市 | 四日市四郷 | 老人保健施設いこいの森 | 津 | 津東 |
| 老人保健施設浜っこ老健 | 四日市 | 石薬師 | 老人保健施設アルカディア | 津 | 大橋学園 |
| 老人保健施設みのりの里 | 四日市 | 大橋学園 | 津生協病院 | 津 | 白子 |
| グループホーム四季の郷 | 四日市 | 四日市農芸 | 藤田保健衛生大学七栗サトリウム | 津 | |
| 特別養護老人ホーム ひまわり苑 | 鈴鹿 | 四日市四郷 | | | 津東 |
| | | 四日市西 | | | 津東 |
| | | 鈴鹿 | | | 津商業 |
| | | 稲生 | | | 三重 |
| | | 相可 | | | 三重 |
| | | 石薬師 | | | 三重 |
| | | 伊勢学園 | | | 白子 |
| 老人保健施設ひまわり | 鈴鹿 | 四日市農芸 | | | 伊勢学園 |
| 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム | 鈴鹿 | 四日市工業 | | | 尾鷲 |
| | | 石薬師 | | | 白子 |
| | | 石薬師 | | | 大検 |
| | | 石薬師 | | | 鈴鹿 |
| | | 石薬師 | | | |
| 老人保健施設鈴の丘 | 鈴鹿 | 石薬師 | 特別養護老人ホーム明合乃里会あこの | 津 | 白子 |
| | | 石薬師 | 特別養護老人ホーム豊野みかんの里 | 津 | 鈴鹿 |
| | | 神戸 | 救護施設長谷山荘 | 津 | 大橋学園 |
| | | 津商業 | 特別養護老人ホーム芹の里 | 津 | 稲生 |
| | | 飯野 | 老人保健施設なごみの里 | 多気 | 相可 |
| | | | | | 三重 |
| | | | | | 伊勢学園 |
| 老人保健施設アルテハイム鈴鹿 | 鈴鹿 | 石薬師 | | | |
| | | 大橋学園 | | | |
| | | 鈴鹿 | 老人保健施設第二嘉祥苑 | 多気 | 白山 |
| | | 亀山 | 特別養護老人ホームはなのその | 玉城 | 伊勢学園 |
| 特別養護老人ホームルエハイム | 鈴鹿 | 白子 | 老人保健施設やまゆりの里 | 松阪 | 久居 |
| | | 稲生 | | | 宮川 |
| | | 稲生 | 老人保健施設嘉祥苑 | 松阪 | 伊勢工業 |
| 村瀬病院 | 鈴鹿 | 亀山 | 岡波総合病院 | 伊賀 | 名張 |
| 特別養護老人ホーム 伊勢マリノホーム | 鈴鹿 | 稲生 | | | 桔梗ヶ丘 |
| | | 稲生 | 特別養護老人ホームさくら園 | 松阪 | 鈴鹿 |
| | | 尾鷲 | | | 相可 |
| | | 大検 | | | |
| デイサービス玉垣あんしん館 | 鈴鹿 | 鈴鹿 | 済生会明和病院 | 明和 | 三重 |
| 老人保健施設パークヒルズ高塚 | 鈴鹿 | 四日市工業 | 特別養護老人ホーム正邦園 | 伊勢 | 伊勢学園 |
| デイサービス大家族 | 鈴鹿 | 四日市商業 | 老人保健施設志摩豊和苑 | 志摩 | 志摩 |
| デイサービスさつきの里 | 鈴鹿 | 向陽台 | 特別養護老人ホーム尾鷲長寿苑 | 尾鷲 | 尾鷲 |
| 特別養護老人ホーム亀寿園 | 亀山 | 亀山 | 特別養護老人ホーム高浜安立荘 | 愛知 | 津東 |
| デイサービスシルバースポーツわたなべ | 亀山 | 向陽台 | | | |
| 障害者支援施設 聖マッセヤ心豊苑 | 津 | 四日市工業 | | | |
| | | 尾鷲 | | | |
| | | 稲生 | | | |
| | | 稲生 | | | |

卒業生からのメッセージ

一日一日を大切に過ごせるよう頑張っています。
これもSOCが教えてくれたこと



介護福祉科
H18年度卒業生
菊永 智美
(飯野高校出身)
就職先
老人保健施設
鈴の丘

SOCを卒業して、早いもので3年が経ちました。私は今、認知症のユニットリーダーとして働いています。利用者さんと接する時は、その人の世界観に合わせて時には昔からの知り合いになったり、何度も同じことを話す方にも常に新鮮な気持ちでお話を聞くよう心がけています。職場では、その人に合った介助方法やケアの仕方を他職種の方達と連携しながら行っており、高齢者特有の病気の症状や身体の変化、対応など、学校で勉強した知識や技術がとても役に立っています。毎日の業務は多く、つい目の前の仕事に追われてしまいがちですが、その中でも少しでも利用者さんとお話をする時間を作っていけるよう心がけています。たとえば1対1の入浴の時間も、ゆっくりお話をしたり、健康状態を確認する良い機会となっています。レクリエーションや懐メロを歌う時も、利用者さんと心を通わせる大切な時間です。学校の皆や先生達とすごし、大切なことを学べたこの2年間を、これからも忘れず頑張っていきたいと思います。

在校生からひとこと

自分を支える強みが欲しい!!
「介護事務管理士」試験合格!!



介護福祉科
2年生
高梨 光将
(高田高校出身)

以前から専門学校に入学するのなら、できるだけ多くの資格をと考えていました。介護事務管理士技能認定試験の受験者募集が始まった時、資格を取れば就職先で幅広く仕事を任せてもらえると思い、思い切って挑戦しました。レセプトの書き方や単位表など初めて目にするものもあり、最初は戸惑いましたが、学校の授業で普段から介護保険やサービスについて学んでいたのがイメージがしやすく、頭には入りやすかったです。ポイントはテキストのどこに何が載っているのかを把握して、よく出題される項目にはインデックスを貼り、自分がわかりやすいよう工夫する事だと思います。また、放課後は学校に残って皆で勉強しました。先生からのアドバイスから直前対策として時間を計って過去問を何度も解き、ベストな時間配分ができるよう調整する等、一人一人に合わせた対策ができたのもよかったです。合格通知が届いた時は本当に嬉しかったです。ひとつひとつの積み重ねが、達成感と自信へとつながったと思います。

入学の決め手はオープンスクールでした!!



介護福祉科
1年生
伊藤 亜侑美
(津商業高校出身)

SOCに入学して約1ヶ月が経ちました。最初は友達ができるか、授業についていけるかなど不安でした。

私がこの学校に入学を決めたのはオープンスクールでした。初めての参加のとき、年上の方たちもいてびっくりしたのを覚えています。オープンスクールには数回参加しましたが、先生方がとても優しく丁寧に教えてくださり、他の学校より環境が良かったので決めました。今思うと、オープンスクールに参加して本当に良かったと思います。入学してからは、クラスに同じ年齢の人だけでなく、年上の方も多い環境ですがいろいろ話しかけて、すごく良い経験になっています。

今はまだ知らないことばかりで学ぶことが多いですが、ここでの環境なら乗り越えられると思います、頑張っています。